平和ナガサキ

（小学生版）

長　崎　市

はじめのことば

１９４５（昭和２０）年８月９日、ここ長崎に一発の原子爆弾が落とされ、一瞬にして、美しい長崎の地は廃墟と化し、かけがえのないたくさんの命がうばわれたことは、皆さんこれまでの平和学習で学んできたことと思います。

ここに平和学習のためのテキストとして「平和ナガサキ」をつくりました。この平和学習テキストを大いに役立てて、原爆資料館見学学習で被害の様子等を知り、さらに最近の平和へ向けた動きなどについても学習し、平和についての想いを深めてほしいと思います。

そして、長崎でおきた悲しいできごとがけっして忘れ去られることのないよう、胸に深くきざみこみ、皆さん一人一人が「平和を創る人」へと成長していってくれることを願います。

もくじ

中学年のページ

1　長崎ってどんなまちだったの？…… 1
2　どんな出来事があったの？…… 6
3　僕に、わたしに できること！ …… 8
4　被爆者の思いを受け止めよう…… 11

高学年のページ

1　原子爆弾の投下とその被害…… 13
2　命を救った人々 …… 17
3　原子爆弾の被害を今に伝えるもの…… 20
4　核兵器はなくならないの？ …… 24
5　今、世界は平和だろうか？…… 26
6　私の平和宣言 …… 28
7　被爆者の思いを受け止めよう …… 32

1　長崎ってどんなまちだったの？

被爆前の長崎

長崎は、江戸時代の鎖国政策（外国との交通や貿易を禁止）のもと、西洋に開かれた日本でただ一つの町で、外国文化の伝来地・貿易港として発展しました。

しかし、明治時代の終わりごろになると、長崎は、造船の町へと変わりました。

幕末期の長崎港図　長崎歴史文化博物館所蔵

浜町通り　米軍撮影　長崎原爆資料館所蔵

三菱長崎造船所方面を望む　長崎原爆資料館所蔵

長崎駅　長崎原爆資料館所蔵

浦上天主堂　長崎原爆資料館所蔵

原子爆弾が落とされる前の長崎の人々はどんな生活を送っていたんだろう？

.....

.....

中学年のページ

原子爆弾投下

人類史上初めての原子爆弾が1945（昭和20）年8月6日に広島に投下されました。

その3日後の8月9日、アメリカ軍のB29（爆撃機）によって投下された2発目の原子爆弾が、午前11時2分、長崎市北部（現在の松山町交差点付近）の上空でさく裂しました。

長崎の町は一瞬のうちに破壊され、約15万人の市民が亡くなったり、けがをしたりしました。

柱時計　長崎原爆資料館所蔵

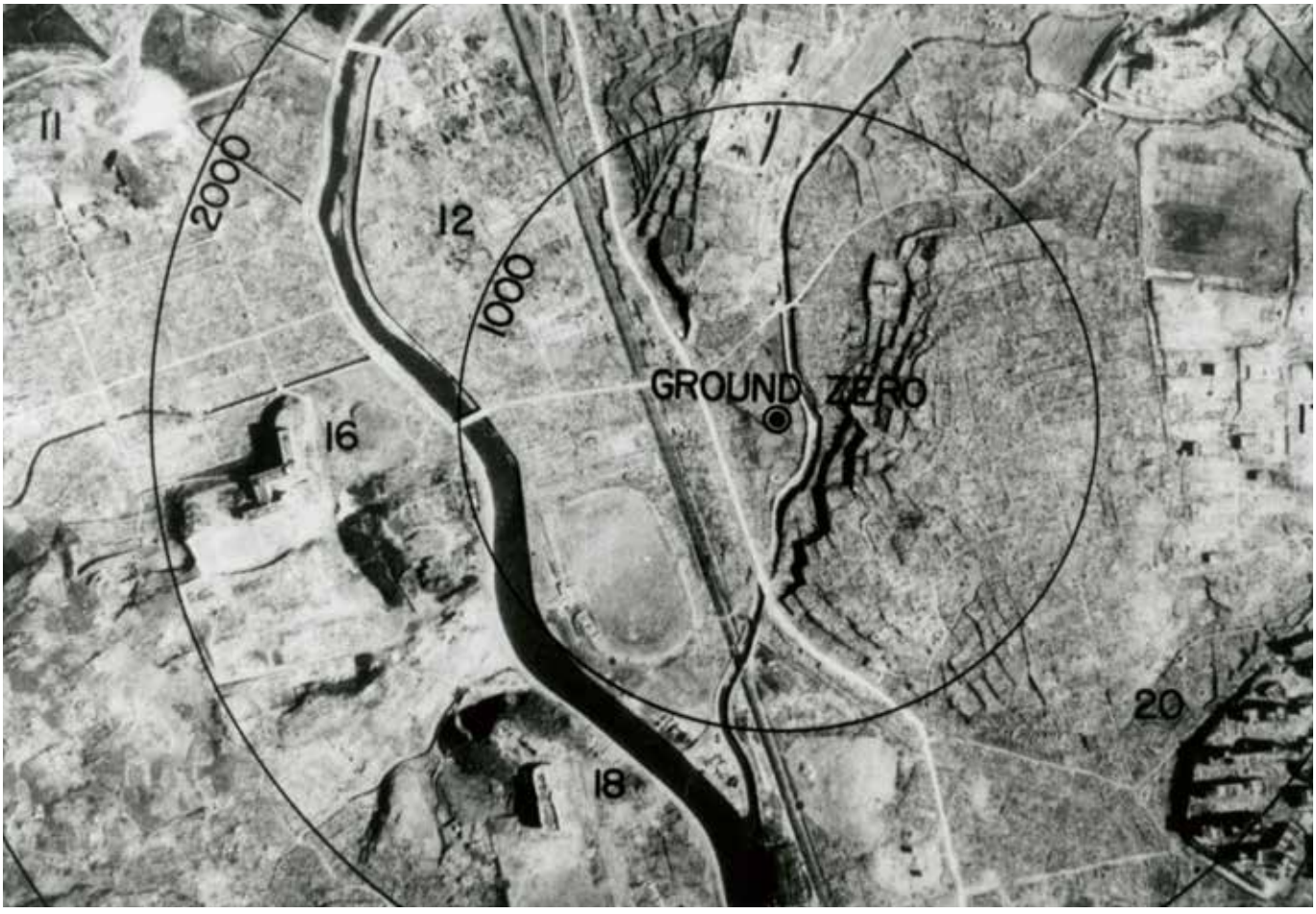
きのこ雲　米軍撮影　長崎原爆資料館所蔵

香焼島（現在の香焼町）から原子爆弾さく裂15分後に撮影されたきのこ雲　松田弘道氏 撮影　長崎原爆資料館所蔵

原子爆弾（ばくだん）が落とされる前

米軍撮影　長崎原爆資料館所蔵

原子爆弾（ばくだん）が落とされた後



米軍撮影　長崎原爆資料館所蔵

焼けて空どうとなった山里国民学校

米軍撮影
長崎原爆資料館所蔵

城山国民学校

林重男氏撮影
長崎原爆資料館所蔵

淵国民学校

米軍撮影
長崎原爆資料館所蔵

稲佐国民学校

米軍撮影
長崎原爆資料館所蔵

浦上天主堂

林重男氏撮影
長崎原爆資料館所蔵

長崎医科大学附属医院

林重男氏撮影
長崎原爆資料館所蔵

銭座国民学校

エドワード・ロジャース氏撮影
長崎原爆資料館所蔵

西坂国民学校

米軍撮影
長崎原爆資料館所蔵

原子爆弾が落とされた後、長崎のまちはどうなったんだろう？

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2　どんな出来事があったの？

原子爆弾によって、数多くの尊い命が奪われました。ここに、原爆が落とされたときのことを知る人（被爆者）のお話があります。私たちに何を訴えているのでしょうか。

「おかあさんを焼いた運動場」　辻本一二夫（当時５歳）

僕は山里小に入った。いまは四年生だ。あの運動場はすっかりかたづいて、たくさんの友だちが大よろこびで遊びまわっている。あの友達は、ここでたくさんの子どもが死んで、焼かれたことを知らない。

僕も、友達といっしょになると、元気で運動場をとびまわって遊ぶ。けれども、どうかしたときには、ふっと、あの日のことを思い出す。

そして、お母さんを焼いたその所にしゃがんで、そこの土を指でいじる。

竹で深くいじると、黒い炭のかけらが出る。そこの所を、じっと見ていると、土の中にボーッとお母さんの顔が見えてくる。

ほかの子どもが、そこの所をふんで歩くのを見ると、腹が立つ。

運動場へ出るたびに、僕は、あの日を思い出す。運動場はなつかしい。そして悲しい。

「ひとりぼっち」　深堀幸子（当時４歳）

お父さんは会社に行っていました。

お母さんは、そとでようふくをほしていました。二人の弟は家の中にいました。私はだいどころに立っていました。

家がつぶれました。

私はふしぎに下じきにならずに、外になげだされました。見ると、黒い雲が、どんどんあっちに行っていました。

となりの兄さんが走ってきて、家の下から二人の弟をほり出しました。上の弟は死んでいました。下の弟は、出してからすぐに死にました。

お母さんも死にました。

お父さんも帰ってきません。

私は、ひとりぼっちになりました。

「お父さん」　野口新（当時６歳）

そのとき、お父さんは工場に行っていました。そして原子ばくだんにあい、原子病で三日めに死にました。

その時、ぼくはまだ小さかったので、お父さんが、死んでも悲しくありませんでした。

でも、今は、たびたび思い出して、悲しくてなりません。

近所（きんじょ）の人からにくまれる時には、ほんとうにくやしいです。そしてふとんの中でしくしくなきます。

「お父さんが、生きてくだされば・・・・・」

といつも思います。

そうすれば、近所の人からも、にくまれたりいじめられたりしない・・・・・。

でも、もう帰ってきません。そんなに思うと、もう悲しくて悲しくてなりません。

焼き場に立つ少年　　ジョー・オダネル氏撮影

感じたこと、思ったことを書いてみよう。

3　僕に、わたしに できること！

平和の灯 キャンドル作製！

平和への願いを込めてつくられたキャンドルを平和の泉周辺に灯して戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えています。

ポスター・標語作成

平和への　おもいと願い　この握手

世界平和を祈念するポスターと標語を募集しています。入賞作品は原爆資料館などに展示するほか、いろんな冊子の表紙に使われています。

市民大行進に参加！

平和祈念像前から原爆落下中心地までのコースを、子どもから大人までおおぜいの市民の皆さんが参加して行進し、世界に強く平和を訴(うった)えています。

お話を聞く！

被爆体験講話

どんな気持ちでとりくんだらいいのかな？

.....

.....

.....

.....

.....

.....

学校で！

平和集会
にこにこげんき
やさしいいちねんせいになりま
おともだちとなかよくあそんで、
えがおいっぱいの二年生になりま
みんなのいのちを大切にして
えがおいっぱいつくります。
せんばづる
こころをつなぎ
せかいへと
思いやり 助けあい
みんなできずく平和な世界
長崎の平和を 未来へ バトンパ

平和集会

4　被爆者の思いを受け止めよう

小学校　3　年　　組　　名前
お話をしてくださった方：　　さん
お話をしてくださった日：　　年　　月　　日　　時　　分～　　時　　分
◎お話をきいて、心に残っていることや、平和について思ったことを書いてみよう。

小学校　4　年　　組　　名前
お話をしてくださった方：　　さん
お話をしてくださった日：　　年　　月　　日　　時　　分～　　時　　分
◎お話をきいて、心に残っていることや、平和について思ったことを書いてみよう。

1　原子爆弾の投下とその被害

原子爆弾のさく裂

１９４５（昭和２０）年

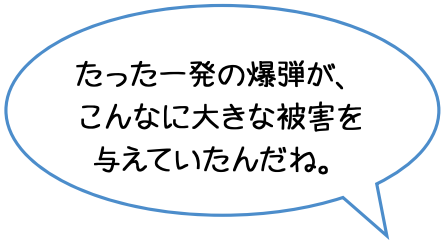
８月９日

１１時２分

柱時計　　長崎原爆資料館所蔵

高学年のページ

被害の様子



死者		７３,８８４人
負傷者		７４,９０９人
被害を受けた戸数		１８,４０９戸
内訳	全焼（全部焼けること）	１１,５７４戸
	全壊（全部壊れること）	1,３２６戸
	半壊（半分壊れること）	5,５０９戸

※原爆資料保存委員会の報告（昭和25年7月発表）昭和20年12月末までの推定

当時の長崎市の人口が約24万人だったので、約3分の2の人たちが亡くなったりけがをしたりしました。どれだけひどい被害をうけたかがわかりますね。

長崎型原爆「ファットマン」

長崎に投下された原爆は、長さが3.25m、直径が1.52m、重さが4.5トンありました。右の写真が原爆資料館に展示してある原爆の実物大の模型です。ずんぐりとした形をしていたので、「ファットマン」と呼ばれていました。

約9,600mの高さから投下された原爆は、地上から約500mのところで爆発しました。爆発と同時に発生した火の玉は、爆発の瞬間に最高で数百万度にも達し、爆発から1秒後には直径が最大で約280m、表面温度5,000度であったといわれています。

長崎型原爆「ファットマン」

※　原爆資料館見学学習のときに、実物をみて理解を深めよう。

長崎に原爆が落とされる3日前には、広島にも投下され、約14万人もの方が亡くなりました。広島型原爆は「リトルボーイ」と呼ばれていました。

川越明人氏寄贈
広島平和記念資料館所蔵

１９４５（昭和２０）年
８月６日
８時１５分に投下

広島型原爆「リトルボーイ」米国国立公文書館所蔵

① 熱線による被害

原子爆弾から出された「熱線」は、どんな被害をあたえたんだろう？

原子爆弾から出された熱線は地面に届くまでに、少し弱まりましたが、それでも地面の温度は、爆心地で3,000℃から4,000℃もありました。この信じられない高い熱が突然降り注いでくると、どのようなことが起きたか、写真を見ながら想像してみよう。

監視兵の影　松本栄一氏 撮影 朝日新聞社提供

淵国民学校　米軍撮影 長崎原爆資料館所蔵

山里国民学校　林重男氏 撮影 長崎原爆資料館所蔵

三菱長崎製鋼所第２工場　米軍撮影 （公財）長崎平和推進協会写真資料調査部会提供

② 爆風による被害

原子爆弾の爆風は、どれくらいの破壊力があったんだろう？そして、どんな被害があったんだろう？

原子爆弾が爆発したときに発生した爆風は、爆心直下で秒速440m（時速1584km）にたっしました。また1㎡あたりの圧力は6.7～10トン（ほぼ大型トラック一台分の重さ）にもなりました。そんな爆風がふくなかで、どのようなことが起きたか、写真を見ながら想像してみよう。

浦上天主堂　相原秀次氏 撮影 長崎原爆資料館所蔵

高学年のページ

③ 放射線による被害

原子爆弾から大量に放出された放射線は、どんな被害をあたえたんだろう？

野口　貞子さん（当時９歳）

じっと座っているうちに、頭も、体も、だんだんぼんやりしてきました。何だか、ひどくつかれて、病人のような気がします。ただ、むちゃくちゃに、のどがかわいて、しかたがありませんでした。そこへ、よその兄さんが、一升びんに、水を入れてもって来ました。それをもらって飲んだときのうまかったこと！ けれども、まもなく、それをすっかり吐いてしまいました。そのとき、青い物、黄色い物、赤い物を吐きました。

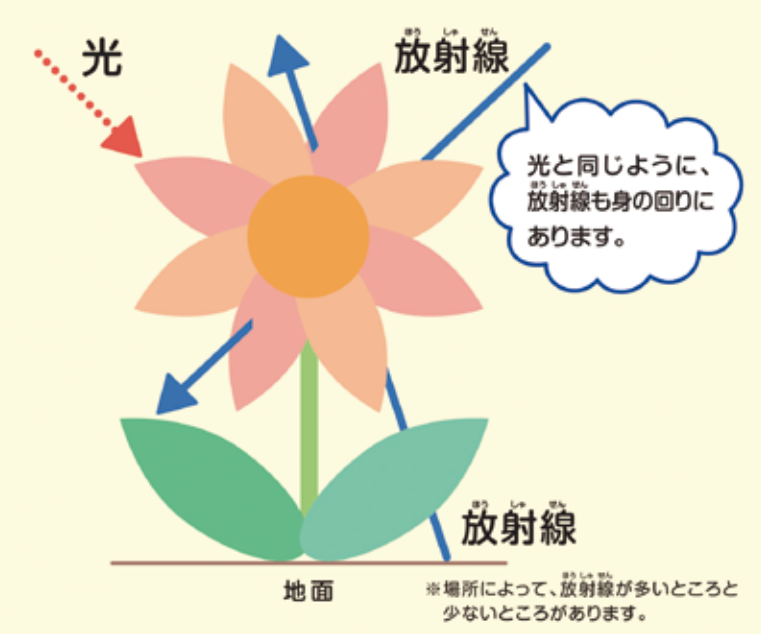
高学年のページ

放射線って、どんなもの？

放射線は、太陽や蛍光灯から出ている光のようなものです。

薄い花びらを明るいところでかざして見ると、花びらが透けて光が見えます。これは、薄い花びらを光が通り抜けるからです。

光と放射線の違いは、放射線が光より「もの」を通り抜ける働きが強いことです。



文部科学省作成　放射線等に関する副読本
「放射線について考えてみよう」より抜粋

2　命を救った人々

原子爆弾が落とされた後、傷ついた人々を救う活動はどのように行われたのでしょうか。

患者を治療するはずの病院が・・・

原子爆弾が投下されたことにより、爆心地に近いところにあった長崎医科大学（今の長崎大学医学部）も大きな被害を受けました。傷ついた人々を助けるはずだったお医者さんや看護師さんの多くも亡くなったり傷ついたりしました。生き残ったお医者さんや看護師さんによって救護活動が始められましたが、薬や器材が不足し、応急処置さえ十分にできない状態でした。

長崎医科大学附属医院　桝屋富一氏 撮影
長崎原爆資料館所蔵

救援列車

負傷者を市外の病院などに運ぶ救援列車が走りました。９日の夜中までにおよそ2,500人～3,500人あまりの負傷者を、救援列車が諫早や大村などへ運びました。

『被爆者救援列車』　寺井邦人氏 画
長崎原爆資料館所蔵

救護隊

９日の夕方ごろには佐世保や大村などの海軍病院などから救護隊が、夜には長崎県下の40の町や村からも警防団を中心とした救護隊が、長崎にかけつけました。

救護所

新興善国民学校は、医療救護などの訓練を行っていた救護所のひとつでした。爆心地付近の救護所や長崎医科大学がこわれていたので、たくさんの負傷者が集まりました。治療方法がわからず次々と人が亡くなるなか、献身的な救護活動が続けられました。

現在、学校のあった場所は、市立図書館が建てられ、その当時の救護所の様子が再現されています。

新興善国民学校救護所　富重安雄氏 撮影 朝日新聞社提供

新興善国民学校内に開かれた治療室　小川虎彦氏 撮影 長崎原爆資料館所蔵

永井 隆　博士

己の如く隣人を愛せよ

（自分を愛するように、まわりの人を愛しましょう）

長崎医科大学の医師であった永井隆博士は原爆が落とされる２か月前に「白血病であと３年の命」と診断されていました。

原子爆弾で被爆し大けがを負いましたが、我が身もかえりみず生き残った医師や看護師、技師とともに救護活動を行いました。

しかし、そんな博士もついに病に倒れます。博士は、被爆から６年後の1951（昭和26）年５月１日、43歳で亡くなるまでに17冊の本を書き、その本に遺した数多くのメッセージで、人々に平和と命の大切さを訴え、生きる希望と勇気を与えました。

「如己堂」

永井博士の書物

永井隆博士からのメッセージ！

永井隆記念館には、もっとたくさんのメッセージがのこされているよ。

原子爆弾は長崎でおしまい！
長崎がピリオッド！
平和は長崎から！
（「平和塔」より）

本当の平和をもたらすものは、ややこしい会議や思想ではなく、ごく単純な愛の力による。
（「いとし子よ」より）

この鐘も戦の間は鳴らすのを止められていた。戦が終わるとまた鳴りだし鳴っている。平和であるからこれは平和の鐘だ。
（「花咲く丘」より）

お互いに許し合おう
・・・お互いに不完全な人間だから
お互いに愛し合おう
・・・お互いにさみしい人間だから
けんかにせよ、闘争にせよ、戦争にせよ、あとに残るのは後悔だけだ。
（「平和塔」より）

永井隆博士のメッセージを読んで感じたことを書いてみよう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3　原子爆弾の被害を今に伝えるもの

原子爆弾が落とされたときの様子がわかるものが、今も長崎市内に遺されています。原子爆弾の被害を伝える大切なものとして、2016（平成28）年10月３日に次の５つが、国の史跡に指定されました。

史跡とは？

歴史上、有名な出来事や建物があった場所を「史跡」といい、さまざまな「文化財」のうちのひとつです。

「文化財」の中で、わが国にとって重要なものが、国によって指定されています。

爆風によって爆心地側の柱が倒(たお)れましたが、反対側の柱は残りました。現在でも鳥居のすぐそばで、倒れた片方の柱などを見学することができます。

山王神社・二の鳥居(とりい)

爆心地

爆心地にある原爆落下中心地碑です。原子爆弾はこの上空500mで炸裂しました。

爆心地付近

心に残ったことをメモしよう。

平和は世界の願い

①平和の記念碑
（ポルトガル・
ポルト市）

②人生の喜び
（チェコスロバキア）

③Aコール
（ブルガリア）

④諸国民友好の像
（東ドイツ）

平和祈念像

平和の泉

⑯生命の木
（オーストラリア・
フリーマントル市）

⑮平和のマント
（ニュージーランド
政府と６都市）

⑭戦争に対する
平和の勝利
（アルゼンティン・
サンイシドロ市）

⑬地球星座
（アメリカ・
セントポール市）

⑫無限
（トルコ・
アンカラ市）

⑤未来の世代を
守る像
（オランダ・
ミデルブルフ市）

⑥平和
（ソヴィエト連邦）

⑦乙女の像
（中国）

⑧生命と平和
との花
（ポーランド）

⑨人生への賛歌
（イタリア・
ピストイア市）

⑩太陽と鶴
（キューバ）

⑪平和の碑
（ブラジル・
サントス市）

高学年のページ

4　核兵器はなくならないの？

長崎に原子爆弾が投下されてから70年以上が過ぎましたが、原子爆弾や水素爆弾などたくさんの核兵器があります。世界の今日の動きはどうなっているのでしょうか。

核兵器って、何？

核兵器とは、ウランやプルトニウムなどの元素が、核分裂や核融合（分裂の反対）を起こすときに大きなエネルギーを出すこと（核爆発）を利用した兵器です。核爆発を起こす核弾頭と、それを運ぶミサイルなどをあわせて核兵器といいます。

高学年のページ

上の図を見てもわかるように、世界中にはまだまだ核兵器がたくさんあります。

そこで世界中のみんなが、減らしていくための努力をしてきました。

核兵器の数を知って、どう思いましたか？あなたの考えを書き、友達と話してみましょう。

弾頭保有数

発

ICAN
ベアトリス・フィン代表

ノーベル平和賞受賞！

世界の１２２カ国が採択に賛成した「核兵器禁止条約（じょうやく）」が結ばれるために大きな力を発揮した国際ＮＧＯ「ＩCAN＝核兵器廃絶（はいぜつ）国際キャンペーン（あいきゃん）」が、２０１７年度のノーベル平和賞を受賞しました。このＮＧＯ団体には平和首長会議や、長崎や広島の被爆者の方も大いに協力し、核兵器廃絶の声を世界の国々に届け続けました。

高学年のページ

5　今、世界は平和だろうか？

自分の考えに一番近いものを、○でかこみましょう。

平和である　・　平和ではない　・　わからない

1　○をつけた自分の考えを書きましょう。

わけは、

2　友だちの考えを聴いて、改めて自分の考えに一番近いものを○でかこみ、自分の考えを書きましょう。

平和である　・　平和ではない　・　わからない

3　今日の授業の振り返りを書きましょう。

メ　モ

6　私の平和宣言

私たちの住む長崎では、平和を願ってどんなことが行われているのかな？

高学年のページ

平和の灯（ともしび）

8月8日

平和への願いを込めてつくられたキャンドルを平和の泉周辺に灯（とも）して戦争の悲惨（ひさん）さと平和の尊（とうと）さを伝えています。

長崎市では、原爆犠牲者の追悼や、世界恒久平和を訴えるために、さまざまな取り組みを行っています。

8月9日

長崎原爆犠牲者慰霊（ぎせいしゃいれい）平和祈念式典（きねんしきてん）

原爆でなくなられた方々を慰霊（いれい）し、世界がいつまでも平和であるようにとの祈りをこめて行なわれています。

青少年ピースフォーラム

8月8～9日

全国から集まる青少年と長崎の青少年が被爆の実相や平和の尊（とうと）さを学習し、交流しています。

10月下旬

原爆犠牲者慰霊・世界平和祈念市民大行進

平和祈念像前から原爆落下中心地までを、おおぜいの市民の皆さんが行進して世界に強く平和を訴えています。

世界平和祈念ポスター・標語展

世界平和を願うポスターと標語を募集し、入賞作品は市内に展示するほか、いろんな冊子の表紙に使われています。

そのほかにも…

被爆体験を語り継ぎます
家族・交流証言

市内中学校の取組みがわかります
平和学習発表会

ピカソの絵「ゲルニカ」と同じサイズで描きます
キッズゲルニカ

今私たちが暮らしている長崎は、とても美しく、すてきな街です。皆さんのお父さんやお母さん、おじいちゃん、おばあちゃんといった私たちの先輩たちが、70年以上前に起きた悲しい出来事(できごと)を心に刻(きざ)み、一生懸命(いっしょうけんめい)に努力を重ねて、このような姿に変化を遂げたのです。

さあ、これからは私たちが頑張る番です。

平和な長崎、平和な日本、平和な世界をこれから先の未来も続けていくために、何をしていくのか、「私の平和宣言(せんげん)」を書いてみましょう。

私の平和宣言

小学校　　名前

時枝亜生氏 撮影

メ　モ

7　被爆者の思いを受け止めよう

① お話をしてくださる方：　　さん
② お話をしてくださる日：　　年　　月　　日　　時　　分～　　時　　分
③ どんな体験だったのか、かんたんにまとめてみよう。
④ 質問したいことを書いてみよう。

小学校　５　年　　組　　名前

お話をしてくださった方：　　さん

お話をしてくださった日：　　年　　月　　日　　時　　分～　　時　　分

◎被爆体験講話を聴いて心に残ったことや、平和への想いを書いてみよう。

① お話をしてくださる方：　　さん
② お話をしてくださる日：　　年　　月　　日　　時　　分～　　時　　分
③ どんな体験だったのか、かんたんにまとめてみよう。
④ 質問したいことを書いてみよう。

小学校　6　年　　組　　名前

お話をしてくださった方：　　さん

お話をしてくださった日：　年　月　日　時　分～　時　分

◎被爆体験講話を聴いて心に残ったことや、平和への想いを書いてみよう。

メ　モ

～ホームページの活用～

長崎市内には数多くの被爆に関する建物や、記念碑があります。ここで紹介しきれなかったものについては、「長崎市平和・原爆ホームページ」上の「平和公園周辺マップ」の中で見ることができます。被爆地めぐりをする時に、ぜひホームページを見てください。

その他にも、「キッズ平和ながさき」という、子ども向けのページがありますので、調べ学習をする時などに活用してください。

■長崎市平和・原爆ホームページ （アドレス）http://nagasakipeace.jp/

長崎市平和・原爆ホームページ
おもな掲載内容

○原爆資料館	○キッズ平和ながさき
○原爆の記録	○関連施設
○長崎平和宣言	○平和学習資料
○核兵器の廃絶へ	○被爆体験の継承
○平和への取り組み	○平和情報ポータルサイト
○平和公園周辺マップ	

「平和ナガサキ（小学生版）」おもな参考文献

長崎市編「長崎原爆戦災誌」
長崎市編「長崎市制六十五年史」
長崎市編「長崎原爆資料館学習ハンドブック」
広島市長崎市原爆災害誌編集委員会編「広島・長崎の原爆災害」　岩波書店
「長崎原爆資料館　資料館見学・被爆地めぐり「平和学習」の手引書」（公財）長崎平和推進協会
永井　隆著「原子雲の下に生きて」　サンパウロ出版社
ジョー・オダネル写真「トランクの中の日本」　小学館
黒沢　満編「軍縮問題入門」　東信堂
小路敏彦著「長崎医科大学潰滅の日」　丸ノ内出版
文部科学省作成　放射線等に関する副読本「放射線について考えてみよう」
長崎・ヒバクシャ医療国際協力会（NASHIM）「漫画で学ぶ長崎原爆」

編集協力

森川敦子　（比治山大学現代文化学部准教授）　永井徳三郎（永井隆記念館館長）
朝長万左男（日本赤十字社長崎原爆病院名誉院長）
髙村　昇　（長崎大学原爆後障害医療研究所教授）
長崎大学核兵器廃絶研究センター（ＲＥＣＮＡ）　ナガサキ・ユース代表団大学生

付　記

「平和ナガサキ」は、「ナガサキ平和学習プログラム検討委員会」からの提言書（平成13年10月提出）を受けて、平成15年3月31日に初版を発行しました。その後、平成28年度から長崎市教育委員会が進めた平和教育再編成に基づき平成30年3月31日に発行された「平和教育手引書」の内容を踏まえ、上記協力者等の助言を受けて、平成30年度版より改訂しました。

平成30年５月31日　発行
企画編集　長崎市原爆被爆対策部
　　長崎市教育委員会
発　行　　長崎市原爆被爆対策部

長崎市民平和憲章

私たちのまち長崎は、古くから海外文化の窓口として発展し、諸外国との交流を通じて豊かな文化をはぐくんできました。

第二次世界大戦の末期、昭和２０年（１９４５年）８月９日、長崎は原子爆弾によって大きな被害を受けました。私たちは、過去の戦争を深く反省し、原爆被爆の悲惨さと、今なお続く被爆者の苦しみを忘れることなく、長崎を最後の被爆地にしなければなりません。

世界の恒久平和は、人類共通の願いです。

私たち長崎市民は、日本国憲法に掲げられた平和希求の精神に基づき、民主主義と平和で安全な市民生活を守り、世界平和実現のために努力することを誓い、長崎市制施行１００周年に当たり、ここに長崎市民平和憲章を定めます。

1　私たちは、お互いの人権を尊重し、差別のない思いやりにあふれた明るい社会づくりに努めます。

1　私たちは、次代を担う子供たちに、戦争の恐ろしさを原爆被爆の体験とともに語り伝え、平和に関する教育の充実に努めます。

1　私たちは、国際文化都市として世界の人々との交流を深めながら、国連並びに世界の各都市と連帯して人類の繁栄と福祉の向上に努めます。

1　私たちは、核兵器をつくらず、持たず、持ちこませずの非核三原則を守り、国に対してもこの原則の厳守を求め、世界の平和・軍縮の推進に努めます。

1　私たちは、原爆被爆都市の使命として、核兵器の脅威を世界に訴え、世界の人々と力を合わせて核兵器の廃絶に努めます。

私たち長崎市民は、この憲章の理念達成のため平和施策を実践することを決意し、これを国の内外に向けて宣言します。

平成元年３月２７日　長崎市議会議決

長崎市平和・原爆ホームページ

http://nagasakipeace.jp/

	小学校
３年	組
４年	組
５年	組
６年	組
名　前	